

佐世保市 教育センターだより

No.260

平成28年9月30日

Sasebo City Educational Center佐世保市教育センター
佐世保市保立町12-31
TEL (0956) 76-7331

家庭教育、はじめの一步

佐世保市教育委員会 学校教育課

主幹 高橋 正伸

「お名前は？」とやさしく尋ねられた幼児が、母親の後ろにしがみつきながら恐る恐る促され、小声で「こんにちは」と答えている。巷で時折見かける微笑ましい光景です。人見知りしがちな幼児にとっては、人に触れ、人と交わる体験のワンステップというところでしょうか。親に寄り添う幼子は、親の手指をしっかりと握りしめながら、たくさんの人々と挨拶を交わすようになります。やがて心許す友と出会い、群れをなしながら親の手を自ら解きほだき、新しい社会へ歩み進んでいきます。

ところで、人見知りは動物の世界にもあるそうです。わが家の周辺には、多少迷惑な数匹のノラ猫がなわばりをはって、庭先を堂々と横切ります。私が近づくと、警戒心たっぷりに睨まれてしまいます。追い払いたい私の感情がそのまま伝わっているのでしょうか。そもそも猫は人見知りで、じっと見つめられると威嚇されているように感じ、知らない人に声を掛けられたり、なでられたりするるのが苦手だそうです。むしろ自分を無視して知らんぷりをしてる人に安心して近づくのだそうです。

さて、時代はさかのぼり、明治時代には日本人の礼儀作法を学校で教えるための作法要項が作成されました。また当時の通信簿には、修身の評価と併せて、「操行(=礼儀作法)」の評価欄が設けられました。西洋諸国との関係から、旧習を改める必要があったようです。

東京府御布達として作法を定めた「小学女礼式」には、「相手とすれ違う時は、右斜めに足を下げ、両手をひざ頭まで下げて頭をさげ、過ぎて行かれたら後ろ足から踏み出す」とか、「歩く作法は両手を膝の上に伸ばし・・・かかとを地につけ静かにしずしずと歩むべし」と、このような内容です。

当時の作法の教えには、自身の分をわきまえ、相手に失礼のないように言葉を交わし、礼を尽くすという人との交わり方を示した日本ならではの操行文化がありました。

現在、市内の小中学校では挨拶運動が定着し、毎日元気な挨拶が交わされています。今の時代、一つ一つの仕草を明文化した明治風の指導要項はなじみませんが、挨拶を交わす時、しなやかで細やかな心配りを感じる日本古来の礼儀作法の本質は、いつまでも伝えていかなければなりません。

わが身にしがみついた幼子を、背中をやさしく押しながら人にふれさせ、相手を敬う心を育まんとする寛容な親の姿こそ家庭教育のはじめの一步です。

なお人見知りの猫たちの躰については、糞の後始末に追われる私の心情をお汲み取り頂き、未だ寛容の境地には至らぬことを申し添えます。

Secular training

経年研修 関係法令に基づく研修 (中核市研修)

◆初任者研修

■宿泊研修

7月27日(水)～29日(金)

講師：教育センター 所員

参加型、体験型などの多様な研修を行いました。また、宿泊を伴った研修を通して、初任者教諭同士のネットワークが深まり、大変有意義な研修となりました。



◆10年経験者研修

■教科指導研修

8月5日(金) 14:00～16:30

講師：教育センター 所員

前半は、授業改善の視点を中心に講義を行いました。後半は、全国学力テストの問題を取り入れた模擬授業を行い、授業改善における方途について講義・演習を行いました。



◆若手研修 (2年目～5年目)

■倫理服務規律研修 (3年目)

7月1日(金) 14:00～16:30

講師：教育センター 所員

「教職員に求められる倫理と服務」「知っておくべき法知識(生徒指導)」について講義・演習を行いました。感想として、「法規の文章だけに捉われることなく、子どもの実態に応じて判断していくことの大切さを学んだ」等の声が聞かれる爽やかな研修となりました。



■教科等指導力向上研修 (4年目)

8月5日(金) 14:00～16:30

講師：教育センター 所員

前半は、「授業改善の視点について」と題して講義を行いました。後半は、アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりについての講義後、KJ法を用いたワークショップ型研修を行いました。



◆初任者研修・10年経験者研修

■交流研修(ユニット研修)

8月10日(水) 13:30～16:00

講師：教育センター 所員、学校保健課 担当

10年経験者の実践発表後、初任者との質疑応答が行われました。初任者においては、10年経験者のノウハウを習得するとともに、未来を見据えるよい機会となりました。10年経験者においては、初任者から刺激を受け、教員としての実践的指導力を身に付けるための成果と課題を改めて考える機会となりました。



◆15年・20年経過教員研修

■全体研修、メンタルヘルス研修

7月4日(月) 14:00～16:30

講師：臨床心理士 富崎 朋子、教育センター 所員

前半は、「ミドルリーダーとしての心構え」「ガイダンス」等の研修を行いました。後半は、「職業性ストレスとの上手な付き合い方」と題して、講義・演習を行いました。



Professional training

職能研修 教育課程実施上の諸問題を解決し、実践するための基礎的・基本的な研修



■「特別支援コーディネーター」「特別支援教育」
 8月2日(火)14:00~16:00
 演題「学級経営と授業のユニバーサルデザイン
 ~発達につまずきのある子どもの輝かせ方~」
 講師 東京都立青山特別支援学校 主任教諭
 川上 康則 先生

子ども理解の在り方、ユニバーサルデザインの視点を含めた学級経営や授業改善等の方法を演習も取り入れながらご講義いただきました。



■「道徳教育推進教師」「授業改善・道徳」
 8月3日(水)14:30~16:30
 演題「新しい道徳教育を創る」
 講師 国立教育政策研究所 総括研究官
 西野 真由美 先生

道徳の意義や考え方、アクティブ・ラーニングや問題解決学習の視点を含めた授業改善の方法等、これからの「道徳を創る」上で多くのご示唆をいただきました。



■「教職教養講座」
 8月17日(水)13:30~16:30
 演題「学校と保護者のいい関係づくり
 ~トラブルを大きくさせないために学校が気をつけるべきこと~」
 講師 大阪大学大学院 教授
 小野田 正利 先生

ロールプレイング等を通して、様々な事例や対処法等を学びました。また、ストレスマネジメントを考えるよい機会となりました。

Challenge training

課題研修 学校教育推進上の諸問題に対応した内容の研修



■「構成的グループエンカウンター (SGE)」
 7月11日(月)14:30~16:30
 演題「構成的グループエンカウンターを活用した学級づくり ~人の中で人は育つ~」
 講師 高知大学 准教授
 鹿嶋 真弓 先生

SGEへの理解及び技術の習得を通して学級経営等の指導力向上を図ることを目的に本研修を行いました。体験を交えながら楽しく学ぶことができ、受講後のアンケートも大変好評でした。



■「アクティブ・ラーニング」
 8月8日(月)14:30~16:30
 演題「資質・能力を育成する学習活動とは
 ~アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善~」
 講師 国立教育政策研究所 総括研究官
 後藤 顕一 先生

アクティブ・ラーニングについて、中央審議会の方針やこれまでの経緯等をご講義いただきました。また、クロスSWOT分析を用いて、学校と地域についての協議を行いました。



■「心の状況調査活用」
 8月10日(水)14:30~16:30
 演題「心の状況調査の効果的な活用について
 ~児童生徒理解・学力向上を視点として~」
 講師 高知大学 特任准教授
 杉田 郁代 先生

生徒を多面的に理解するための具体的な方法や「i-check」の考え方と帳票の見方についてご講義をいただきました。



■「書写・書道」
 8月18日(木)9:30~16:30
 演題「書写書道の楽しみ・指導法について」
 講師 日展会友
 堤 玉園 先生 他5名

書道用具の歴史、筆の持ち方や姿勢、筆遣い等の基本的な部分を始め、文字を書くことを通して、文字のバランスや美しく見せる方法等をご指導いただきました。また、毛筆の師範演技を披露していただきました。



■「ソーシャルスキルトレーニング」
 8月22日(月)13:30~15:30
 演題「教室でできる関係づくりの具体方策」
 講師 名城大学 教授
 曾山 和彦 先生

リズムよく軽快かつ丁寧な語り口で、楽しく活気がある研修でした。演習を行いながらソーシャルスキルトレーニングの理論や子どもたちへの効果等をご講義いただき、理解を深めることができました。



■「郷土史」
 8月24日(水)14:30~16:30
 演題「日本遺産『三川内焼』『鎮守府』を中心とした佐世保の歴史」
 講師 佐世保市郷土史研究所 研究客員
 久村 貞男 先生
 祖谷 敏行 先生

本年度、認定された日本遺産についての研修でした。たくさんの資料を提示していただきながら郷土史に関する理解を深めました。会場からあふれるほどの受講者で大盛況でした。

Information Education and training

情報教育研修 ICTの活用に係る教職員の資質向上を図るための研修



■ ICT機器活用

7月29日(金)14:30~16:30

演題「ICT機器の接続および操作」

講師 佐世保市教育センター 研究員

コードの名称・役割、実物投影機・プロジェクタ等の接続方法をゆっくりとしたペースで学びました。後半は、タブレット活用や前半の復習など各々でICT機器に触れ、活用について学びました。



■フラッシュ型教材の作成

8月1日(月)14:30~16:30

演題「フラッシュ型教材の作成」

講師 佐世保市教育センター 研究員

フラッシュ型教材の作成のポイント及び授業での具体的な活用についての研修を行いました。後半は、各グループで作成したフラッシュ型教材を発表しました。



■情報モラル

8月24日(水)14:30~16:30

演題「情報モラルに係る事例紹介およびキューブソフトを活用した情報モラル教育」

講師 スズキ教育ソフト 尾藤 唯 先生

スマホ依存、オンラインゲームの危険性、家庭教育等に関する多くの資料をご提示いただきました。また、情報モラル教育に活用できるキューブソフトの有効な活用方法について学びました。

Class Improvement training

授業改善研修 授業力向上のための実践的な研修 (小中学校の教科・各領域)



■中学校・美術

7月29日(金)14:30~16:30

演題「水墨画を楽しもう」

講師 佐世保美術振興会
田崎 鶴洲 先生

筆の使い方や濃淡の出し方などを基礎から学びました。先生の指導により、見事な作品が出来上がっていました。「空間の処理はすべての絵画に共通するものがあり、大変参考になりました。」等の感想が多数あり、大変有意義な研修になりました。



■小学校・音楽

8月1日(月)9:30~16:30

演題「音楽の力をはぐむ授業の在り方」

講師 筑波大学附属小学校 教諭
平野 次郎 先生

コミュニケーションを主体とした授業の進め方や専門知識・技能がなくてもスマートフォンを活用して授業ができる方法等について、演習を含めながらご講義いただきました。

今後の目玉研修

注目

職能研修

道徳教育推進教師研修会

12月9日(金)

演題 「道徳教育を創る」(仮)

講師 静岡大学 准教授
藤井 基貴 先生

道徳教育、防災教育、高等教育、教育史と幅広い分野でご活躍なさっています。著書には、「道徳教育を学ぶための重要項目100」「道徳指導論」など多数発表されています。

編集後記

～学び続ける教師であるために～

平成28年度も前期が終了しようとしています。佐世保市教育センターでは、これまで、延べ2,000名を超える先生方に研修を受講していただいています。

変化の激しい時代にあっては、子どもだけでなく教師も、主体的に学び、新しい知識を刷新しながら、自らが成長し続ける必要があります。佐世保市教育センターでは、秋以降も、授業改善研修をはじめ多数の研修を計画しております。学び続ける教師、自らを高める教師であるために、積極的な受講をお待ちしています。また、受講内容を校内研修等で伝達していただき、広く役立てていただければ幸いです。

